

令和3年6月25日

養父市議会議長 西 田 雄 一 様

養父市新文化会館整備事業等特別委員会
委員長 植 村 和 好

養父市新文化会館整備事業等特別委員会中間報告書

本特別委員会において調査したことを、次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 令和3年6月10日（木）
- 2 調査事項 養父市文化会館（仮称）整備事業等の進捗状況について
 - (1) やぶ市民交流広場（YBファブ）の進捗状況について
 - (2) 市道宮越諏訪町線ほか周辺市道整備事業及び旧グンゼ事務所棟・宿泊棟活用事業の進捗状況について
- 3 調査内容

やぶ市民交流広場（YBファブ）と周辺整備事業の令和3年5月末進捗状況及び今後の予定について、ホール棟と図書館棟については市民生活部及び施工事業者から、周辺市道整備並びに旧グンゼ事務所棟及び宿泊棟についてはまち整備部から説明を受け調査を行った。

- (1) やぶ市民交流広場（YBファブ）の進捗状況について

本体工事は、工期を令和3年5月末から6月末に延期している。5月末時点の進捗率は90.2%で計画どおり進んでいる。調査日現在、ホール棟は客席設置や舞台床フローリングを施工中で、図書館棟は床タイル、電気機械等設備及び塗装等内装工事を施行中であつた。公園広場等外構工事は水路・盛土整地工・植栽工が完了し、市木のブナその他、サクラ、モミジ等高木植樹と建物近辺の張芝が養生中であつた。

新施設の落雷防止対策（避雷針）は、屋根の棟、ケラバ、軒等に銅線を張る方式となっている。今後、駐車場等の舗装工事を行い、いずれの工事も6月末には完成予定である。

「YBファブ」スタッフの募集状況は市内外から35名（男性22名、女性13名）の応募があり、旧スタッフから継続の応募もある。団体名称や役員構成は、設立総会を開いて決定する。

市内4ホールなどの音楽鑑賞、イベント等の事業計画に向けて、養父市とゆかりのあるピアニスト青柳いづみこ氏を芸術監督（職名は参与）に任命した。文化芸術施策推進のための専任プロデューサーの選任は、候補者の確保が難航している。芸術監督の配置によりプロデューサーの配置を見直すなど、別の推進体制を検討している。

(2) 市道宮越諏訪町線ほか周辺市道整備事業及び旧グンゼ事務所棟・宿泊棟活用事業の進捗状況について

市道宮越諏訪町線ほか周辺市道整備工事の進捗率は70%で、当初5月を予定していた工期をホール棟等本工期の変更に伴い6月末に変更している。残工事は、周辺の歩道舗装及び既設道路のすりつけ舗装工事となっている。

旧グンゼ事務所棟・宿泊棟活性化事業は、5月に2期工事を発注し完成は7月末を予定している。軽食のテイクアウトを行う事業者募集には応募がなく、募集要項を見直し再募集に向けて準備をしている。

(まとめ)

今後の運用面における課題として、屋外用トイレや手洗い場の必要性が挙げられた。ホール棟西側屋外に1基設置されているが、公園広場利用者の多くはホール棟及び図書館棟の屋内トイレを使用することが想定され、閉館中は屋内トイレが利用できないなど利便性に欠け、屋内利用者への影響も懸念される。また、施設敷地内には農業用水路が縦断しているが、敷地の排水や表土の流入により下流域の農作物に影響がないよう管理されたい。市道宮越諏訪町線の歩道設置においては、敷地面と相当な落差があり転落防護柵の必要性がある。法令等基準に基づき不要としているが、安全面への配慮が求められる。

市政発足以降最大となる建設工事費30億円の事業が完了を迎える。公共建設事業による地元企業への経済波及効果の検証が必要であり、本特別委員会も基本計画からの事業検証を予定する。

令和元年11月の建設工事着手より令和3年6月末まで足掛け3年の月日を要して市民交流広場が完成する。施工業者はじめ関係者には、コロナ禍における予期せぬ制約の中での工程管理を労いたい。

完成後のイベント計画や運営・維持管理においては、市民協働の組織体制を整えるとともに、新たなまちの象徴として集いの場となり、これからの時代にふさわしい拠点となることを大いに期待する。